

追加情報

- ・本書では、操作設定編に追加する情報を記載しています。本機に付属の取扱説明書 操作設定編とあわせてお読みください。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書では製品品番の一部（WV-）を省略している場合があります。
- ・本書は以下の機種を対象にしています。
WV-X6533LNJ、WV-S6532LNJ

・ソフトウェア Ver.4.30

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
1	[インターネットモード] の初期値を変更	映像/音声-映像	3ページ
2	SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化	ネットワーク-アドバンス	4ページ
3	「アラーム連動動作」に「アラーム時のSNMP送信」を追加	アラーム -アラーム連動動作	5ページ
4	[SNMP] に [SNMPトラップ設定] を追加	ネットワーク-アドバンス	6ページ

・ソフトウェア Ver.4.60

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
5	管理者登録時のブラウザーの言語設定により、ストリームに関する設定項目の初期値を変更	映像/音声-映像	11ページ
6	「ネットワーク」のIPv4ネットワークの[接続モード] の初期値とDHCPの動作仕様を変更	ネットワーク	12ページ
7	「ネットワーク」にONVIF設定を追加	ネットワーク	13ページ
8	「ネットワーク」の「アドバンス」に[SRTTP] を追加	ネットワーク-アドバンス	14ページ
9	HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応	アラーム-通知	15ページ
10	HTTPアラーム通知機能の認証失敗時、システムログに追加	その他-システムログ	17ページ

・ソフトウェア Ver.4.80

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
11	[SNMPトラップ設定] に「お知らせ」を追加	ネットワーク -アドバンス	18ページ
12	録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加	メンテナンス -ステータス	19ページ
13	録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加	アラーム-通知	20ページ
14	録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加	映像/音声-映像	21ページ
15	プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）のダウンロード機能を追加	基本-基本	22ページ
16	メール通知先の認証パスワードを拡張	ネットワーク- アドバンス	23ページ

・ソフトウェア Ver.4.91

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
17	PCの日時をカメラに設定する機能を追加	基本-基本	24ページ
18	SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更	基本-SDメモリーカード	25ページ
19	インターネットモードのOn/Offの補足説明を設定画面に追加	映像/音声-映像	26ページ
20	NTPテスト機能を追加	ネットワーク -アドバンス	27ページ
21	HTTPSにTLS設定を追加	ネットワーク -アドバンス	28ページ
22	LLDP 機能に対応	ネットワーク -アドバンス	29ページ

1. [インターネットモード] の初期値を変更

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声] -ストリームに関する設定を行う [映像])

[インターネットモード] の初期値を変更しました。

ストリーム(1)	
ストリーム配信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
圧縮方式	<input type="radio"/> H.265 <input checked="" type="radio"/> H.264
インターネットモード	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off

• [インターネットモード]

H.265 (またはH.264) 画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままですトリームを配信することができます。

On : HTTPポートを使用してH.265 (またはH.264) 画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については [HTTPポート番号] をお読みください。

Off : UDPポートを使用してH.265 (またはH.264) 画像、音声を配信します。

初期設定 : On

お知らせ

- 「On」の場合、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」の場合、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」の場合、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
- 「On」の場合、IPv4アクセスのみに制限されます。

2. SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

– ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] – SNMPを設定する)

カメラがリクエストを受け付けるSNMPマネージャーのアドレス範囲設定を追加しました。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS			
SNMP エージェント 設定			
SNMPバージョン		SNMPv1/v2 ▼	
SNMPv1/v2	コミュニティー名	<input type="text"/>	
	マネージャーアドレス	<input type="text"/>	
SNMPv3	ユーザー名(1~32文字)	<input type="text"/>	
	認証方式	<input type="radio"/> MD5	<input type="radio"/> SHA1
	暗号化方式	<input type="radio"/> DES	<input type="radio"/> AES
	パスワード(8~16文字)	<input type="text"/>	

• [マネージャーアドレス]

SNMPバージョンがv1、v2の時、リクエストを許可するSNMPマネージャーのIPアドレスを入力します。空白の場合は、すべてのIPアドレスからのリクエストを許可します。

お知らせ

- 「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネット単位でリクエストを許可するSNMPマネージャーのIPアドレスを制限できます。
例えば、「192.168.0.1/24」と入力した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のSNMPマネージャーのリクエストが許可されます。

入力可能文字数 : 0~128文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」 「.」 「/」

初期設定 : 空欄

3. 「アラーム連動動作」に「アラーム時のSNMP送信」を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム])

– アラーム連動動作に関する設定を行う

アラーム連動動作に関する設定に[アラーム時のSNMP送信]を追加しました。

「SNMP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSNMP送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。

(→「4. [SNMP] に [SNMPトラップ設定] を追加」)

アラーム連動動作	
端子アラーム 1	Off ▼
端子アラーム 2	Off ▼
端子アラーム 3	Off ▼
動作検知アラーム	Off ▼
音検知アラーム	Off ▼
コマンドアラーム	Off ▼ 送信元別プリセットポジション設定へ
アラーム時の画質制御	アラーム時の画質制御設定へ
アラーム時のメール送信	メール設定へ
アラーム時の画像送信(FTP送信)	FTP設定へ
アラーム時の画像保存(SDメモリーカード)	SDメモリーカード設定へ
独自アラーム通知	独自アラーム通知設定へ
HTTPアラーム通知	HTTPアラーム通知設定へ
アラーム時のSNMP送信	SNMP設定へ

4. [SNMP] に [SNMPトラップ設定] を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

– ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] – SNMPを設定する)

SNMPに関する設定に [SNMPトラップ設定] を追加しました。
アラーム発生時のSNMPトラップ通知に関する設定を行います。

SNMP トラップ 設定		<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
通知先	アドレス	<input type="text"/>
	ポート	<input type="text" value="162"/> (1-65535)
SNMPv2c	コミュニティー名	<input type="text"/>
トラップ通知設定		
	有効/無効	通知文字列
SNMP汎用トラップ	<input type="checkbox"/> coldStart	<input type="text" value="cold start"/>
	<input type="checkbox"/> linkUp	<input type="text" value="linkup"/>
	<input type="checkbox"/> authenticationFailure	<input type="text" value="auth error"/>
アラーム	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="text" value="terminal alarm 1"/>
	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="text" value="terminal alarm 2"/>
	<input type="checkbox"/> 端子 3	<input type="text" value="terminal alarm 3"/>
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="text" value="VMD alarm"/>
	<input type="checkbox"/> 自動追尾	<input type="text" value="auto track alarm"/>
	<input type="checkbox"/> 音検知	<input type="text" value="audio"/>
	<input type="checkbox"/> コマンドアラーム	<input type="text" value="cmd"/>
SDメモリーカード	<input type="checkbox"/> 診断	<input type="text" value="sd alarm"/>
拡張ソフトウェア	<input type="checkbox"/> アラーム	<input type="text" value="alarm"/>

- [SNMPトラップ設定]

SNMP トラップ通知の On/ Off を設定します。

初期値: Off

- [通知先] – [アドレス]

SNMP トラップ通知の通知先のアドレスを入力します。

入力可能文字数: 0~128 文字

入力可能文字: 半角英数字、半角記号「:」 「.」

初期設定: 空欄

- **【通知先】 - 【ポート】**

SNMP トラップ通知の通知先のポート番号を入力します。

設定可能ポート番号 : 1~65535

初期設定 : 162

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、443、554、995、10669、10670、59000~61000

- **【SNMPv2c】 - 【コミュニティ名】**

SNMP トラップ通知の通知先のコミュニティ名を入力します。

入力可能文字数 : 0~32 文字

入力不可文字 : 全角

初期設定 : 空欄

重要

- SNMP トラップ通知機能を使用する場合は、必ずコミュニティ名を入力してください。
コミュニティ名が空欄の場合は、SNMP トラップ通知機能を使用できません。

- **【SNMP汎用トラップ】 - 【coldStart】 - 【有効/無効】**

チェックボックスにチェックを入れた場合、カメラが起動したときに、トラップ (SNMPv2-MIB::coldStart) を通知します。

初期設定 : チェック無し (無効)

- **【SNMP汎用トラップ】 - 【coldStart】 - 【通知文字列】**

本機が起動したときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。

入力可能文字数 : 0~32 文字

入力不可文字 : 全角

初期設定 : cold start

- **【SNMP汎用トラップ】 - 【linkUP】 - 【有効/無効】**

チェックボックスにチェックを入れた場合、本機がリンクアップしたときに、トラップ (SNMPv2-MIB::linkup) を通知します。

初期設定 : チェック無し (無効)

- **【SNMP汎用トラップ】 - 【linkUP】 - 【通知文字列】**

本機がリンクアップしたときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。

入力可能文字数 : 0~32 文字

入力不可文字 : 全角

初期設定 : linkup

- **【SNMP汎用トラップ】 - 【authenticationFailure】 - 【有効/無効】**

チェックボックスにチェックを入れた場合、SNMPの認証エラーが発生したときに、トラップ (SNMPv2-MIB::authenticationFailure) を通知します。

初期設定 : チェック無し (無効)

- **[SNMP汎用トラップ] - [authenticationFailure] - [通知文字列]**
 SNMPの認証エラーが発生したときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。
入力可能文字数 : 0~32 文字
入力不可文字 : 全角
初期設定: auth error
- **[アラーム] - [端子1] - [有効/無効]**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、端子1にアラームが発生したときに、トラップを通知します。
初期設定 : チェック無し (無効)
- **[アラーム] - [端子1] - [通知文字列]**
 [端子1] のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数 : 0~32 文字
入力不可文字 : 全角
初期設定: terminal alarm 1
- **[アラーム] - [端子2] - [有効/無効]**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、端子2にアラームが発生したときに、トラップを通知します。
初期設定 : チェック無し (無効)
- **[アラーム] - [端子2] - [通知文字列]**
 [端子2] のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数 : 0~32 文字
入力不可文字 : 全角
初期設定: terminal alarm 2
- **[アラーム] - [端子3] - [有効/無効]**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、端子3にアラームが発生したときに、トラップを通知します。
初期設定 : チェック無し (無効)
- **[アラーム] - [端子3] - [通知文字列]**
 [端子3] のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数 : 0~32 文字
入力不可文字 : 全角
初期設定: terminal alarm 3
- **[アラーム] - [動作検知] - [有効/無効]**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、動作検知が発生したときに、トラップを通知します。
初期設定 : チェック無し (無効)

- **【アラーム】 - 【動作検知】 - 【通知文字列】**
 【動作検知】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数：0～32 文字
入力不可文字：全角
初期設定：VMD alarm
- **【アラーム】 - 【自動追尾】 - 【有効／無効】**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、自動追尾が発生したときに、トラップを通知します。
初期設定：チェック無し（無効）
- **【アラーム】 - 【自動追尾】 - 【通知文字列】**
 【自動追尾】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数：0～32 文字
入力不可文字：全角
初期設定：auto track alarm
- **【アラーム】 - 【音検知】 - 【有効／無効】**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、音検知が発生したときに、トラップを通知します。
初期設定：チェック無し（無効）
- **【アラーム】 - 【音検知】 - 【通知文字列】**
 【音検知】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数：0～32 文字
入力不可文字：全角
初期設定：audio
- **【アラーム】 - 【コマンドアラーム】 - 【有効／無効】**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、コマンドアラームが発生したときに、トラップを通知します。
初期設定：チェック無し（無効）
- **【アラーム】 - 【コマンドアラーム】 - 【通知文字列】**
 【コマンドアラーム】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
入力可能文字数：0～32 文字
入力不可文字：全角
初期設定：cmd
- **【SD メモリーカード】 - 【診断】 - 【有効／無効】**
 チェックボックスにチェックを入れた場合、以下の場合にトラップを通知します。
 - SD メモリーカードの残容量通知時
 - SD メモリーカードの空き容量不足時
 - SD メモリーカードの認識エラー時
初期設定：チェック無し（無効）

- **【SDメモリーカード】 - 【診断】 - 【通知文字列】**

【診断】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角

初期設定：sd alarm

- **【拡張ソフトウェア】 - 【アラーム】 - 【有効／無効】**

チェックボックスにチェックを入れた場合、機能拡張ソフトウェアでアラームが発生したときに、トラップを通知します。

お知らせ

- 拡張ソフトウェアをインストールしていない場合は表示されません。

初期設定：チェック無し（無効）

- **【拡張ソフトウェア】 - 【アラーム】 - 【通知文字列】**

【拡張ソフトウェア】のトラップの通知に使用する文字列を設定します。

お知らせ

- 拡張ソフトウェアをインストールしていない場合は表示されません。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角

初期設定：alarm

5. 管理者登録時のブラウザの言語設定により、ストリームに関する設定項目の初期値を変更

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声]
 -ストリームに関する設定を行う [映像])

管理者登録時のブラウザの言語設定により、ストリームに関する設定項目の一部の初期設定が以下のようになります。

設定項目	ブラウザの言語設定	
	日本語	日本語以外
配信モード	フレームレート指定	可変ビットレート
画質	標準	3
ストリーム(1) -1クライアントあたりのビットレート	FHD モデル : 3072kbps* HD モデル : 2048kbps*	FHD モデル : 6144kbps* HD モデル : 4096kbps*
ストリーム(2) -1クライアントあたりのビットレート	1536kbps*	3072kbps*
ストリーム(3) -1クライアントあたりのビットレート	1024kbps*	2048kbps*
ストリーム(4) -1クライアントあたりのビットレート	1024kbps*	2048kbps*

6. 「ネットワーク」のIPv4ネットワークの[接続モード]の初期値とDHCPの動作仕様を変更

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
-ネットワークを設定する [ネットワーク])

「ネットワーク」のIPv4ネットワークの[接続モード]の初期値とDHCPの動作仕様を変更しました。

ネットワーク	アドバンス
IPv4ネットワーク	
接続モード	DHCP
IPアドレス(IPv4)	192 . 168 . 0 . 10
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 1
DNS	<input type="radio"/> Auto <input checked="" type="radio"/> Manual
プライマリサーバーアドレス	0 . 0 . 0 . 0
セカンダリサーバーアドレス	0 . 0 . 0 . 0

IPv4ネットワーク

【接続モード】

IPアドレスの設定方法を選択します。

固定IP : IPアドレスを「IPアドレス(IPv4)」に入力して設定します。

DHCP : DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

その後、DHCPサーバーからIPアドレスを取得した場合には、そのIPアドレスに変更します。

自動設定(AutoIP) : DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。

自動設定(おまかせ) : DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

初期設定 : DHCP

7. 「ネットワーク」にONVIF設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
-ネットワークを設定する [ネットワーク])

「ネットワーク」にONVIFの設定を追加しました。

ネットワーク		アドバンス		
IPv4ネットワーク				
接続モード	DHCP			
IPアドレス(IPv4)	192	168	0	10
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	0	1
DNS	<input type="radio"/> Auto <input checked="" type="radio"/> Manual			
プライマリーサーバーアドレス	0	0	0	0
セカンダリーサーバーアドレス	0	0	0	0
IPv6ネットワーク				
手動設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off			
IPアドレス(IPv6)				
デフォルトゲートウェイ				
DHCPv6	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off			
DNSプライマリーサーバーアドレス				
DNSセカンダリーサーバーアドレス				
IPv6/v4共通				
HTTPポート番号	80	(1-65535)		
通信速度	Auto			
RTPパケット 最大送信サイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし(1500byte) <input type="radio"/> 制限あり(1280byte)			
HTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte)			
配信量制御 (ビットレート)	51200kbps			
IP簡単設定有効期間	<input type="radio"/> 20分間 <input checked="" type="radio"/> 無制限			
カメラへのFTPアクセス	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 禁止			
ONVIF® ※ONVIFは、ONVIF,Inc.の商標です。	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
設定				

● [ONVIF®]

ONVIFの有効/無効を設定します。

有効 : ONVIF 機器からのアクセスが有効になります。

無効 : ONVIF 機器からのアクセスができなくなります。

初期値: 有効

※ONVIFはONVIF,Inc. の商標です。

8. 「ネットワーク」の「アドバンス」にSRTP機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

「ネットワーク」の「アドバンス」にSRTP機能を追加しました。

SRTP (Secure Real time Transport Protocol) は、音声や動画などのデータをリアルタイムに再生するためのプロトコル「RTP (Real-time Transport Protocol)」を暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。



• [SRTP]

SRTPの有効/無効を設定します。

有効：SRTPに対応するクライアントでのSRTP配信が可能になります。

無効：SRTPに対応するクライアントでのSRTP配信ができなくなります。

初期値:無効

お知らせ

- HTTPSの「接続方法」が「HTTPS」に設定されている場合、SRTPを「有効」にすると、ストリームの「1クライアントあたりのビットレート」が最大「10240kbps*」に制限されます。
- SRTPを「有効」に設定した場合でも、RTPの配信も可能です。
- SRTPで接続可能なクライアントの情報は弊社サポートウェブサイトに掲載されています。
https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_technical-information
<管理番号：C0318>

9. HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム])

– アラーム通知に関する設定を行う [通知] – HTTPアラーム通知について設定する)

HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応しました。

- **HTTPS通信** : [通知先]にhttps://と入力することで、HTTPS通信でアラーム通知を実施
- **Digest認証** : HTTPサーバーとのDigest認証に対応

HTTPアラーム通知		アラーム	
通知先 1	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 2	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 3	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 4	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 5	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	

設定

• [通知先 1] ~ [通知先 5]

HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は5件まで設定できます。

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

初期設定 : http://

入力例 : http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号
https://IPアドレス:ポート番号、または、https://ホスト名:ポート番号

• [ユーザー名]

HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 0~63文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

- **[パスワード]**

HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～63文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

お知らせ

- HTTPサーバーの認証要求によりBasic認証またはDigest認証を行います。

10. HTTPアラーム通知機能の認証失敗時、システムログに追加

(取扱説明書 操作・設定編 その他－システムログ表示について)

「HTTPアラーム通知に関するエラー表示」にHTTPサーバーとのユーザー認証失敗時のエラーを追加しました。

分類	表示内容	内容詳細
HTTPアラーム通知	認証エラー	・ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。 HTTPアラーム通知の設定を再確認してください。

11. [SNMPトラップ設定]に「お知らせ」を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –SNMPを設定する)

[SNMPトラップ設定]に「お知らせ」を追加しました。

お知らせ

- アラーム発生時のSNMPトラップ通知を動作させるためには、アラーム動作の設定が必要です。
アラーム動作に関する設定を行うには、取扱説明書の操作・設定編の「アラーム設定を行う [アラーム]」を参照してください。

12. 録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]

–ステータスを確認する [ステータス])

SD メモリーカードに関するログに録画ストリームのライト処理で異常が発生した場合のシステムログを追加しました。

分類	表示内容	内容詳細
SDメモリーカード	<SD>フォーマット	SD メモリーカードのフォーマットに成功しました。
	<SD>フォーマットエラー	SD メモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。
	<SD>ライトプロテクト	ライトプロテクトされた SD メモリーカードが挿入されました。
	<SD>認識エラー	SD メモリーカードを正しく認識できません。
	<SD>ライトエラー	SD メモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。
	<SD>リードエラー	SD メモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。
	<SD>削除エラー	SD メモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。
	<SD>ファイルシステムエラー	SD メモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。
	<SD>その他エラー	SD メモリーカードで上記以外のエラーが発生しました。
	<SD> SDメモリーカード録画の連続性に異常が起きています。SDメモリーカードへの録画ビットレート設定をご確認ください。	SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生しました。
<SD> SDメモリーカードに異常が起きています。SDメモリーカードの状態をご確認ください。	SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生し続けています。SDメモリーカードが正しく認識されているかをご確認ください。 認識されていない場合には、本機の電源を再起動するか、SDメモリーカードを一度抜いてから改めて挿入してご確認ください。	

13. 録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム])

–アラーム通知に関する設定を行う [通知] –独自アラーム通知について設定する)

「診断」の独自アラーム通知の発生条件に、録画ストリームのライト処理異常を追加しました。

独自アラーム通知

● [独自アラーム通知]

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかを On/Off で設定します。

- アラーム発生時 (独自アラーム通知先「アラーム」欄)
- SD メモリーカード残容量通知時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの空き容量不足時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの認識エラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの書き込みエラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)

初期設定 : Off

独自アラーム通知先

● [通知先 1] ~ [通知先 8]

独自アラーム通知先を IP アドレスまたはホスト名で設定します。通知先は 8 件まで設定できます。

「アラーム」欄 : チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

「診断」欄 : チェックを入れると、SD メモリーカードの残容量通知、SD メモリーカードの空き容量不足、SD メモリーカード認識エラー、SD メモリーカード書き込みエラーを通知します。

「通知先アドレス」欄 : 通知先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の [削除] ボタンをクリックします。

14. 録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声]

–ストリームに関する設定を行う [映像])

「1 クライアントあたりのビットレート *」の「お知らせ」に、推奨値を超えたビットレートを設定した場合、SD メモリーカード録画の連続性に異常が発生する可能性がある旨を追記しました。

[1 クライアントあたりのビットレート *]

お知らせ

- ストリームのビットレートは、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「配信量制御 (ビットレート)」に制限されます。そのため「*」付きの値を設定した場合は、映像が配信されない場合があります。
- ストリームのビットレートは、6144kbps 以下の設定をおすすめします。6144kbps より大きい値を設定した場合は、録画映像の連続性に異常が発生する可能性があります。
- リフレッシュ間隔が短い場合、被写体によっては設定したビットレートを超過することがあります。
- 同時接続するユーザー数、または、使用する機能の組み合わせによっては、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

15. プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe) のダウンロード機能を追加 (取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])

プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe) のダウンロード機能を追加しました。

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [ダウンロード]

[実行] ボタンをクリックして、インストーラー付きプラグインソフトウェアをPCにダウンロードすることができます。ダウンロードしたファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

16. メール通知先の認証パスワードを拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] - メール送信について設定する)

メール通知先の認証用パスワードについて入力可能文字数を 128 文字に拡張しました。

- **【認証-パスワード】**

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 0~128 文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

17. PCの日時をカメラに設定する機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])

日時設定において、PCの日時をカメラに設定する機能を追加しました。



[日時]

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。

「PC時刻をカメラに設定する」にチェックを入れて [設定] ボタンをクリックすると、PCの日付と時刻を取得して本機に設定します。

設定可能範囲 : Jan/01/2013 00:00:00 ~ Dec/31/2035 23:59:59

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。
(→NTPサーバーを設定する)

18. SD メモリーカードの「上書き」の初期値を On に変更

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] -SD メモリーカードを設定する [SD メモリーカード])

[上書き]

SD メモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- On: SD メモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- Off: SD メモリーカードの空き容量がなくなった場合、SD メモリーカードへの保存を停止します。

初期設定 : On

19. インターネットモードの On/Off の補足説明を設定画面に追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声]
–ストリームに関する設定を行う [映像])

インターネットモード設定の On/Off の補足説明を追記しました。

ストリーム(1)	
ストリーム配信	<input type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
圧縮方式	<input type="radio"/> H.265 <input type="radio"/> H.264
インターネットモード	<input type="radio"/> On <input type="radio"/> Off ※ 「On」 に設定すると、HTTPポートを使用してストリームを配信します。 「Off」 に設定すると、UDPポートを使用してストリームを配信します。
解像度	1280x960 ▼

【インターネットモード】

H.265 (または H.264) 画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定を JPEG 画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。

- **On** : HTTP ポートを使用して H.265 (または H.264) 画像、音声を配信します。HTTP ポート番号の設定については「ネットワークを設定する[ネットワーク]」の「IPv6/v4 共通」をお読みください。
- **Off** : UDP ポートを使用して H.265 (または H.264) 画像、音声を配信します。

初期設定 : On

お知らせ

- 「On」 に設定すると、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」 に設定すると、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」 に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
- 「On」 に設定すると、IPv4 アクセスのみに制限されます。

20. NTP テスト機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –NTP サーバーを設定する)
NTP サーバーと通信できるかを確認する為、時刻同期のテスト機能を追加しました。

ネットワーク | アドバンス

SMTP(メール) | FTP | NTP | UPnP | HTTPS | DDNS | SNMP | QoS | SRTP | LLDP

NTP

時刻調整 マニュアルセッティング NTPサーバーに同期

NTPサーバーアドレス取得方法

NTPサーバーアドレス
入力例: 192.168.0.10

ポート番号 (1-65535)

時刻更新間隔

NTPテスト

[NTP テスト]

「時刻調整」を「NTP サーバーに同期」を選択し、NTP サーバー情報を設定後に「実行」ボタンをクリックしてください。NTP サーバーと通信し、時刻同期を実施し、NTP 動作の確認をすることができます。

お知らせ

- ・NTP テストに成功すると、「NTP 時刻補正に成功しました。」を表示します。
- ・NTP テストに失敗すると、「NTP 時刻補正に失敗しました。」を表示します。
- ・「時刻調整」が「マニュアルセッティング」に設定している場合は、NTP テストの「実行」ボタンはグレー表示されます。
- ・「時刻調整」が、「NTP サーバーに同期」に設定されている場合で、NTP サーバーアドレスが設定されていない場合には、NTP テストの「実行」ボタンはグレーアウト表示されます。

21. HTTPS に TLS 設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –HTTPSを設定する)

HTTPS の接続方法に TLS1.1, TLS1.2, TLS1.3 の選択項目を追加しました。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP LLDP			
HTTPS			
接続方法	HTTP	接続方法を「HTTPS」に設定すると、最大配信量が16Mbpsに制限されます。	
	<input type="checkbox"/> TLS1.1	<input checked="" type="checkbox"/> TLS1.2	<input checked="" type="checkbox"/> TLS1.3
証明書の選択	プリインストール		
HTTPSポート番号	443	(1-65535)	
プリインストール証明書			
ルート証明書取得	実行		
CA証明書			
CRT鍵生成	実行		
署名リクエスト(CSR)生成	実行		
CA証明書インストール		参照...	実行
情報	無効	確認	削除
設定			

【HTTPS-接続方法】

本機への接続方法を設定します。

HTTP : HTTP と HTTPS 接続が可能になります。

HTTPS : HTTPS 接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP

HTTPS を選択した場合に使用する TLS を選択します。

•**TLS1.1** : 有効/無効を設定します。

•**TLS1.2**、**TLS1.3** : 常に有効で、無効に設定することはできません。

初期設定 : **TLS1.1** : 無効、**TLS1.2** : 有効、**TLS1.3** : 有効

お知らせ

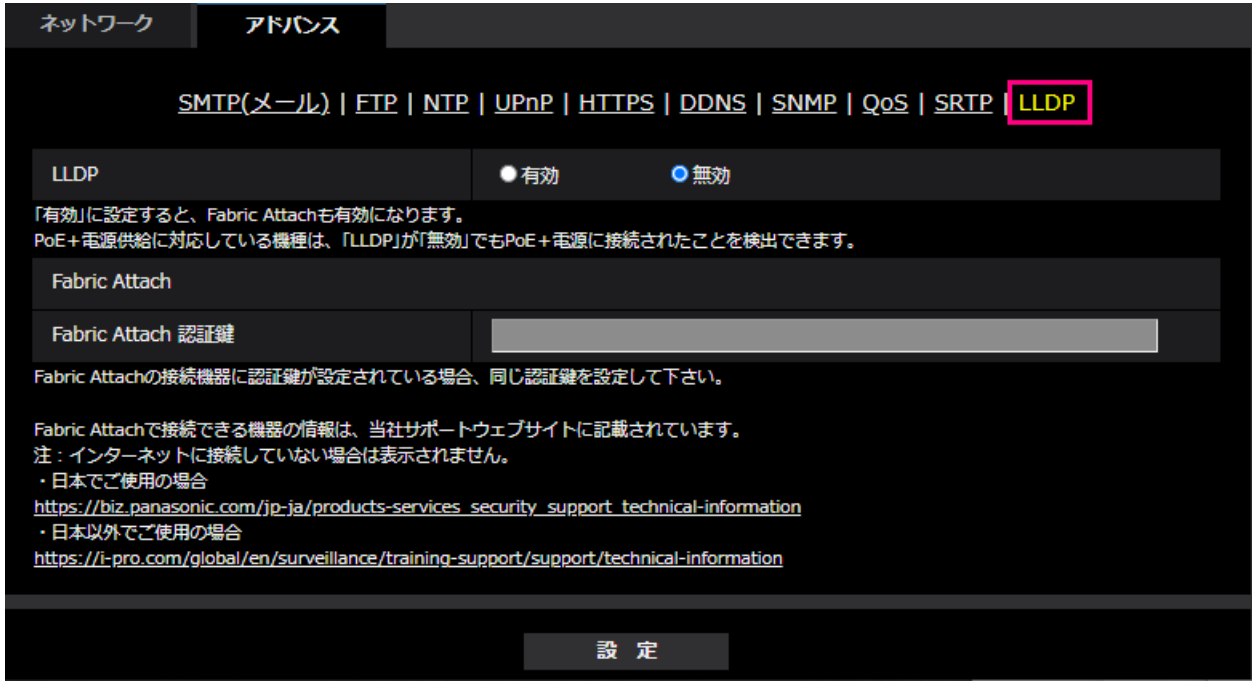
- HTTP選択時に、HTTPS接続するには、最初にHTTPS接続設定を行ってください。その後、HTTPに設定変更した場合でも、HTTPS接続が可能となります。

22. LLDP 機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

LLDP (Link Layer Discovery Protocol) を [ネットワーク] の [アドバンス] に追加しました。カメラのデバイス情報を LLDP 対応機器と送受信することで、相互運用を実現することができます。



[LLDP]

LLDP 機能および Fabric Attach を有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

初期設定：無効

「有効」に設定すると、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

End Of LLDAPDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※PoE+電源供給に対応している機種は、「無効」に設定していても PoE+電源供給のために、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

End Of LLDAPDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓						✓	

Fabric Attach

[Fabric Attach 認証鍵]

Fabric Attach 認証に使用する鍵を入力します。なお、「LLDP」が「有効」の時のみ有効です。

入力可能文字数：0~32 文字（Fabric Attach 認証を行わない場合、空白にしてください。）

入力可能文字：半角英数字

初期設定：なし（空白）

お知らせ

- ・[設定]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約 2 分間操作できません。
- ・Fabric Attach で接続できる機器の情報は、当社サポートウェブサイトに記載されています。
https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_technical-information